火であの世にお送りします。お盆の行事は、 に迎え火を焚いてお迎えし、十六日の送り 仏壇の前に飾ります。 浄土から地上に戻ってくると考えられてい 養する仏事です。 に戻れるようにという思いからです。 絵柄の入っていない白提灯を玄関や部屋 ご先祖の霊を供養します。 ます。ご先祖を一年に一度自宅にお迎えし て共にひと時を過ごし、ご冥福をお祈りし、 お盆とは、ご先祖の精霊をお迎えして供 地方や宗派によって風習が大き お盆の時期にはご先祖が 故人が迷わずに自宅 一般的には十三日 新盆の場合は、

> 盆が多い理由と考えられています。 地域が多く、 域と、旧暦の八月十五日を中心に行う 明治時代に旧暦から新暦に変更した に、新暦の七月十五日を中心に行う 、ます。 繁忙期であった事も、 新暦の七月の時期は、 現在もその風習は残って 東京では七月に実施した 全国的に八月 農作業

都合の良い日にどうぞご参列下さい。 と八月十二日(月)の両日、 要にご参加頂けるよう、七月十七日(水) 施餓鬼法要を厳修しております。ご では、多くの方々にお施餓鬼法

て実の道のごとし。 なるは、 き物なり。 れはし の花は多く 恐れをなさ と 多く なるは ことし。菩提心を発すれば多くさけども果になるは少なく、養羅はなるにからればも果になるは少なく、養羅は思の子は多けれども名 すべて凡 れども ども退心 入る者 ざるは を発す」 ども、戦に 夫の菩提 ぼら は せ ず 少 ヤ か さ 此なに樹ぬ魚 す 12 な す

身延にて

松野殿御返事)

昭和天皇崩御で国民が喪に服した三十 断ち切る為の改元を含め、元号には常 皇の即位など代始めの改元は言うまで 代へと向かう慶祝の雰囲気が高まる中 で改元を迎えた。我が国では古来、天 下の高齢に伴う譲位である。新たな時 年前の改元とは状況が異なり、天皇陛 に国や民の繁栄と平安の願いが込めら 新しい元号が 天変地異や疫病などの災いを 「令和」に決まった。

教授は、この万葉集の一節が文選に収め 写したものだが、東京大学の品田悦一梅が咲く早春の穏やかで美しい風景を描 春令月、気淑風和」を典拠としており、 どと解説している。この 乱すな」と解釈するものもあれば、 は、大伴旅人が詠んだ万葉集の一節「初 省は「ビューティフル、 し、忘れることもできない」という 読んで字のごとく「命令に従い、 「帰田賦」が典拠となって ハーモニー」な 「令和」の元号 せな 和を

の到来、 除けば、 ぎの場になるよう心掛けたいと思って ぞれの花を大きく咲かせることができる日 いる。 ど、我が国を取り巻く環境は多難を極めて 災や東日本大震災など、多くの自然災害を と言える。 本でありたい」と語っている。 元号について「明日への希望とともにそれ 平成の三十年を振り返って阪神淡路大震 安倍晋三首相が記者会見に臨み、 概ね平和を享受した時代であった 初心を思 口の多発な

羅樹の花は多く咲くけれども、 似た渋味の果実に実るのは少ない。 成魚となるものは少なく、

どこまでも求めつづけて真実の仏道 を求める心をおこす人は多いけれども、 人間もまたこれと同様である。 仏道

うに見える武士は多いけれども、 はちょうど、鎧をつけていかにも強そ 戦になって敵を恐れず勇敢に戦う武 るごとに変りやすいものである。それ な邪悪な条件によって迷わされ、 凡人が仏道を求める心は、さまざ 事あま

受取人名

宗教法人 宝清寺

代表役員

石井 前琮

[座番号

一五〇五八四一

銀行名

多摩信用金庫

口口

五、〇〇〇円

よと励ましていらっしゃいます。 も変わることはない。 人々の唱えるお題目の功徳とは、少 蓮聖人のお唱えになるお題目の功徳 道だと思います。この文章の前に、 力することが菩提心であり、「信心」 け取られかねませんが、一生懸命に 殊な振る舞いに没入するかのように 常です。「信心」というと、 熱しやすく、冷めやすいのが日本 菩提心をおこ なにか 日の努受特人

寺から自宅に伺ってお盆のお経を差し上 に「棚経」をご希望の方は、 には今年もお伺いする予定ですが、 お盆の時期には「棚経」といって、 毎年「棚経」で伺っているお宅 お電話でお 新た お

六月の終わり頃に、 の変更をご相談下さい。 ご都合の悪 お葉書にて伺 う日 場合

魚の卵からかえる稚魚は数が多 庵け

します。

頂ける方は、

時をお知らせします。

会う者は少ない。

## 慶綴事業 **牵納治芳名**

(順不同 元年五月末日現在 敬称略)

渋 河 内 マサ子 樹

ご協力ありがとうございました。 林 敏 子

## 矢﨑茂夫氏より

した。 五条の御袈裟と角帽子を寄贈されまたのためにと、三回忌の法要の砌、 提のためにと、 された妻、桂昌院妙裁日良信女の菩 平成二十八年十一月十四日に逝去

ご報告させて頂き、 なお心に謝意を表したいと思います。 大切に使用させて頂いております。 住職が葬儀や法要の時に着用し、 矢﨑氏のご奇特

**慶綴事業** 

号でもご案内しました、 日蓮 M

促進等)宗門浄財勧募にご協力を 青少幼年健全育成に向けた活動の 大聖人の降誕八〇〇年慶讃事業 是非宜しくお願い致 秋川 支店

おつとめには、一切時・六時・四時・三

おつとめとは

回常のお勤

ではなく回数の事です。一般の家庭では 時・二時があります。この「時」とは、時間

二時、つまり朝夕二回行うのが良いとさ

います。

合掌の仕方は、胸の前で両

よって仏様と一体になることを示して

表しているといわれ、合掌することに

左手は迷いの世界にいる私たち人間を す。右手は悟りの世界である仏様を、

合掌は仏前における基本的な動作で

合掌のしかた

# 華経と私たち

妙法蓮華経序品第一

これは教典が釈尊の滅後に結集された り、「お釈迦様の説法を私はこのよう 総ての経典に通じる定まった形であ ものなので、法華経ばかりではなく、 考えられており、列挙されています。 分たちと同じ情を持った命あるものと 濤や空の雲や風のようなものさえ、自 らゆる類型の人々や、動植物、海の怒 べき人間像、その反対のものなど、あ 広大無辺な説法の端緒のことです。 先ず第一に好ましい人間像や尊敬す はじめに「如是我聞」とありますが、 「序」とは、いとぐち の意味で

> 任を持って仏の精神を結集するとの覚 に聞きました」と、私は誤りなく、 悟を示す意味もあります。

山野に入って悟ることが仏教の極致で 修行を重ね、この世を捨てて、独りで べると、「悟り」の境地が望ましいと らず、ただ名誉や利益を目当てに生き 比丘衆は、道もわきまえず教えをも知 方は、人間の本質に徹した考えではな あると考えている比丘衆の信仰のあり すぐれた人)の前で説法をされ、まず、 所が示され、大比丘衆(出家の中でも いと否定します。法華経の精神では、 「迷い」の境地にいる俗世間の人に比 次にインド王舎城の近く霊鷲山と場

> ぎないと考えます。 その反対が「悪」と説いています。 叶うような修行をする事が「善」で、 ならずあらゆる動物も、一切の生命が のものではなく、人間生活の両面に過 に道徳的となるのは、人間の生命のみ きて、仏になる理想に向かって御心に ト・シュバイツァーは、「人間が、 ドイツの神学者で哲学者のアルバー

範囲にわたっているかを知ることがで の化導を受けるべきものが如何に広い 界観は、この生命の一体感であり、仏 人のお釈迦様を中心に展開されます。 法華経の序品において展開される世

## の畏敬」という世界観を述べています。 えられる時のみである。」と「生命へ 本質的に全一であり、神聖であると考

## 題囚のとなえ方

地位や名誉、年齢や性別などの別はな 法蓮華経 , の五字に全て備わってい 暗記することは、「正行」を助けるこ 呼んでいます。「法華経」を読んだり 説くと同時に、自ら実践しました。日 らお題目を唱えてこそ、 つになる」と説いています。唱題には る。我々がこの五字を受持すれば、我 法蓮華経」の「南無」は帰依すること ょぎょう)と呼んでいます。「南無妙 とにつながるという意味で「助行」(じ 蓮宗では、その教えに従い、唱題修行 れ、社会が平安になると信じて教えを く、「法華経」の救いを信じて、心か 々の血肉となり、お釈迦樣と我々は一 おうと導かれようとした功徳は "妙 して修行され、仏になられ、人々を救 で、日蓮聖人は、「お釈迦様が菩薩と することを「正行」(しょうぎょう)と 題目を唱えることによって人々を救わ 日蓮聖人は、「南無妙法蓮華経」の 功徳を受ける

ご先祖に感謝の気持ちを込め、今日も

うにします。

手のひらと指をぴったりと合わせるよ

現実的に実行は難しいと思いますが、

一日無事に過ごせるよう、心の中で手を

あわせるだけでも良いと思います。

毎日供える物としては、ご飯とお茶の

お供物のあげ方

# お盆に墓参をー

台月十台回(水) 日十二回(日) お施餓鬼法奪十一時より



げます。 ○年三月末日)納入のご案内を申し上 度分(二〇一九年四月一日より二〇二 たちばな墓苑の管理料平成三十一年

ております。 月末までに納付いただく前納制となっ 万二千円/年)は、翌年度分を毎年三 当寺の墓苑管理料(一区画につき一

までお問い合わせ下さい。 込みでも可能です。 ご不明な点がございましたら寺務所 納入方法は、ご持参もしくはお振

銀行名 受取人名 口座番号 【墓苑管理料振込先 一五一六二四九 代表役員石井前琮宗教法人宝清寺 多摩信用金庫 秋川支店

や苦しみが和らぐとされています。 しており、花を見ると人は喜び、悲しみ 者に向けて飾るのは、仏様の慈悲を意味 霊供膳だけは本尊に向ける。花を礼拝 物は普通礼拝者の方に向けて供えるが、 生前好きだったものをお供えする。お供 日や年忌法要には、果物や菓子、故人が 二つがあれば問題はありません。祥月命

平時は数珠を左手首に掛けておき、法

その半分の二七個のものもあります。

半連と呼ばれる五四個のもの、更に

呼ばれます。

悩をあらわしていると言われるよう です。数珠の珠は一つ一つが人間の煩

数珠は仏前に礼拝するときの必需品

数銖の持ち方

に、一○八個のものが正式で、本連と

要の時は二環にして左手の親指と人差

し指の間にかけ合掌します

# おてらにはいろいろな行事があるよ!

ご希望の方は、同封のハガキにご記入 るもので、追善供養の大切な一つです。 を偲び感謝する心を形としてお供えす がおいたしましょう。お塔婆は、故人 上、お早めにご投函下さい。 お盆には、ぜひご家族揃ってお墓参

## 新寺務員紹介

務員の欠員が出来ましたが、四月一日 いいたします。また、一月末に女性寺 やご法事のお勤めでお世話をさせて頂 が、後任に大内慈久上人に法務をお願 くことになりますので、よろしくお願 いすることになりました。今後、 ことになりました。 年十二月に副住職が退職しました 田中久美子さんに勤務して頂く

すので、よろしくお願い致します。 窪島静男が境内の清掃管理を担当しま 人で、お世話させて頂くことになりま 今後は、坂井美千代・萩原宏恵と三 墓地などの外回りは、日部英明・

## 後 記

夏の季節を迎えました。 令和元年がスタートし、早 いもので、

って法華信仰が広まりました。世の乱 昨今、授かった素晴らしい命を大切に、 西や道元が宋から禅を伝え、法然や親 続き世は乱れ、 れを痛切に感じる事件が頻発している 鸞により浄土教が隆盛、 宗は国家権力からの自立をはかり、栄 ていました。そんななか天台宗・真言 台掌の日々を過ごして参りましょう。 平安中期以降、戦乱・天災・疫病が 民衆は末法の世に怯え 日蓮聖人によ

宝清寺